

町長の 『余白に 書かせて!』



10月1日に、株式会社片木アルミニウム製作所（片木威代表取締役社長）から、ネームプレートの寄贈を受けました。

町の誘致企業であるこの会社は、世界でも限られた金属加工技術を有しており、その技術が高く評価されています。特殊な金属加工技術でつくられたアルミパネルは、銀座の街路灯などにも採用されていますので、東京を訪れる機会があれば、ぜひ町内企業の技術を確認してみてください。

そして、このたび寄贈いただいたネームプレートは、そのすばらしい技術と素材を元に作製された美しいプレートです。

他の市町村長室を訪れると、例

えば木材が有名なところであれば地場産材を使ったネームプレートなど、その自治体にちなんだものが置かれていることがあります。

大山町では、国内外の交流先から訪問団が毎年来庁され、町長室で写真を撮って帰られますので、その際に町内企業の技術を伝えるツールとして、このネームプレートを活用していきたいと思えます。

株式会社片木アルミニウム製作所の皆さん、本当にありがとうございます。

（文責／町長 竹口大紀）

